

札幌 市民防災

第21号

令和1年10月31日
札幌市民防災団体連合会
発行責任者 田畑 隆二

平成31年度 札幌市民防災団体連合会総会

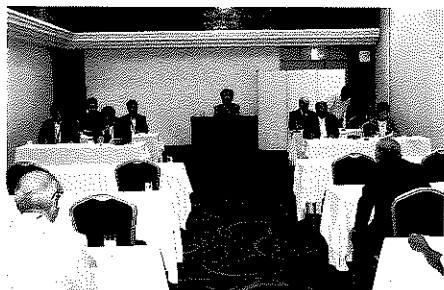
年号も平成から令和にかわり新しい年号を迎え初めての総会が開催されました。

令和元年6月25日 平成31年度の定期総会。札幌市すみれホテルに於いてご来賓として札幌市危機管理対策室、室長荻田葉一様、中出昭彦部長様、会員団体代表者ご出席戴き、平成31年度定期総会が開催されました。

田畑会長の挨拶に引き続き荻田室長様よりご祝辞を戴き、有田京史議長選出後30年度事業、決算報告、令和元年度事業計画、予算など全会一致で採決されました。

総会では会費未納会員、会員増員対応、又避難所での対応等活発な意見が出されました。

総会終了後、中出部長様の乾杯後情報交流に入り木村武資課長様はじめ自己紹介、町内会活動について普段聞く事の出来ない情報をお聞きしました。毎年出席者が少なく成ってますが是非会員皆様おさそい下さいませ。



安全・安心の住み良いまちづくり

札幌市民防災団体連合会 会長 田畑 隆二

日頃から、地域の安全・安心を守るために活動されている市民防災団体の会員の皆様には、心から敬意を表します。

新元号「令和」になり、明日への希望を大きくもってスタートされた事と思います。

さて、近年の我が国においては、今まで経験の無い、大型の地震・風台風・雨台風が発生し多くの被害が出ています。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

改めて、いつ、どこで起こるか分からない災害に対しての備えや準備をして行かなければならない時代になったと実感しております。

これからは、会員皆様がそれぞれの立場で、地域防災活動の結集することが、町内会等の安全・安心のまちづくりに必要と思われまます。

今後も当会が、会員皆様に各種防災活動情報の発信等で、地域の防災活動の一助になります様活動を進めて参ります。これからも、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



過去の災害を踏まえて

札幌市危機管理対策室長 萩田 葉一

札幌市民防災団体連合会の皆さまには、日頃から地域の防災活動に先進的に取り組まれており、その取組の全市への広がりにご尽力をいただいておりますとともに、札幌市の防災行政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、毎年のように日本各地で自然災害が発生しております。平成30年9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震では札幌市でも、これまで経験のない震度6弱を東区で記録し、大規模な停電や断水、道路の陥没などの大きな被害を受けました。また、今年9月の千葉県における台風15号による甚大な停電被害から、自然の脅威とあわせて、日頃からの備えの重要性を再認識されたのではないかと思います。

札幌市では、これまでに発生した自然災害を踏まえ、避難場所基本計画及び避難所運営マニュアルの改訂を行いました。また、地下歩行空間での備蓄物資などの展示、総合防災訓練の訓練内容の拡充などを行いました。引き続き、市民の皆さまの防災意識の向上に努めてまいります。

災害が起きても被害を最小限に抑えるために、引き続き、市民、地域、企業など様々な主体と行政が連携・協力して支えあう防災協働社会の実現を目指してまいります。

札幌市民防災団体連合会におかれましては、今後益々のご発展と、会員皆さまのご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げますとともに、引き続き、札幌市の防災行政に特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道の防災に思う

第11山鼻町内会 自主防災部長 佐々木 康彦

北海道も一昔前までは南西沖地震等はありませんでしたが本州に比べて災害の比較的少ない地域だと思っていました。しかし昨年の北海道胆振東部地震とそれに伴うブラックアウトの多大な損害が発生、又、今までは台風などの影響があまり受けない地域でしたがそれも最近は被害を受ける様になり北海道は災害には安心だと言う私自身の考えは否定せざるを得なくなりました。そこで災害は必ず発生するものだと考え発生したらどうするかと言う対応をこれからはしっかりと考えていかなければならないと思いました。私は山鼻第11町内会で自主防災部長をしています。少しでも町内の皆さまの安全安心を提供出来る様に毎年防災訓練、市民防災センター見学を実施し地域の皆様に少しでも役立つ様に活動しています。今後も引き続き諸先輩からの受け継いだ伝統を継承しながら町内のために貢献したいと考えています。

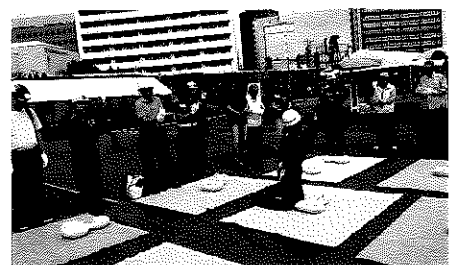


令和元年度 札幌市総合防災訓練で学んだこと

南円山緑ヶ丘町内会 防災部長 北村 善雄

出掛けに朝刊を見る。今日は9月6日である。胆振東部地震から1年、報道では死者44人、仮住避難者約1,300人が今日の現実である。今日の訓練が1年前を意識したことは理解するが、上記の数字は現地の人々が苦労を無駄にせず「しっかりと学べ」との声が私の心に響く。自助・共助・公助をキーワードとしてプログラムは進む。(1)本部進行と個別指導のアナウンスが重複して聞き難い(2)訓練項目13の内体験型は1項目。体験中は他の12項目への集中度は低下する(3)地震・豪雨・火災となれば「防災」で一括りするには時間不足であります。

原点は「備えあれば憂いなし」をしっかりと自覚すること。本当に今までのマニュアルや情報だけで良いのか？住む人も町内会も様々な事情と特徴を抱える。やはり自分達の身の丈に合ったものを防災訓練を通して身に付けるべきと知らされる。今一度、全ての行動のバックアップたる町内会から始めようと思う。



令和元年度 札幌市総合防災訓練

札幌市では災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民や地元企業、防災関係機関などの連携強化や意識啓発等を目的として毎年行っている大規模な総合防災訓練を今年は中央区が担当区し、例年1日で実施していた訓練の内容充実化を図るため2日に分けて行いました。

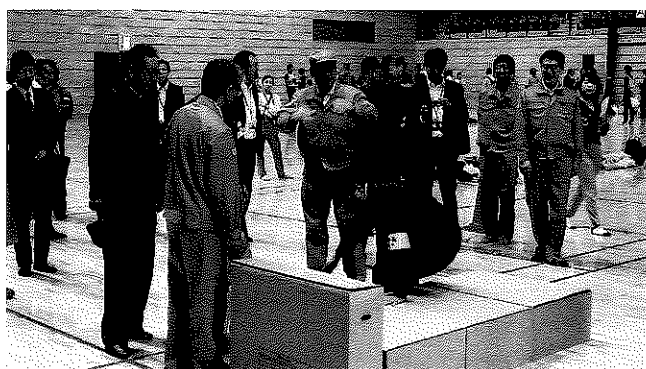
9月6日(金) 豊平川緑地(1条大橋南)人命救助訓練

6日豊平川緑地で自衛隊、道警、市消防局など57団体、約700人が参加し、土砂に埋まった人の救出などの訓練、震度6弱の地震と台風による暴風雨に見舞われた想定で訓練されました。



9月14日(土) 北ガスアリーナ札幌46

避難所開設、運営訓練等参加者は段ボールベットの組み立てや、停電で給水ポンプが動かなくなった場合に受水槽から生活用水を確保する手順の確認などを行いました。企業等32団体約250人が参加されました。参加者の皆様おつかれ様でした。取材ご協力有難うございました。



総合訓練に参加して

宮の森中央町内会 会長 松田 健一郎

令和元年9月6日豊平川河川敷で札幌市総合防災訓練が開催されました。

当日は札幌市をはじめ担当である中央区、消防、警察、自衛隊、病院、電力、水道、ガス、通信、運輸、食品等の団体や地域住民など1,000名あまりが一堂に会し被害状況の確認から救助救出訓練・消火訓練および災害時に役立つグッズの展示が行われました。

消防および自衛隊は倒壊家屋や車両事故現場からの救出訓練や消火訓練、通信会社や食品関係では災害時に役立つドローンなどの通信機器や長期保存可能な最新の防災食、カセットガスボンベ等で動く発電機などのグッズ展示、豪雨体験、流水体験、浸水体験、各団体の車両等の展示があり公共機関の災害体制「公助」を中心に訓練は行われました。

町内会等の皆様が体験型の災害訓練に参加されていました。実際の災害時には様々な「想定外」が生じるものです。日頃からの「自助」「共助」の心がけが多くの人々の命を守る手段であると考えました。



令和元年度 札幌市総合防災訓練 札幌 秋元克広市長 講評

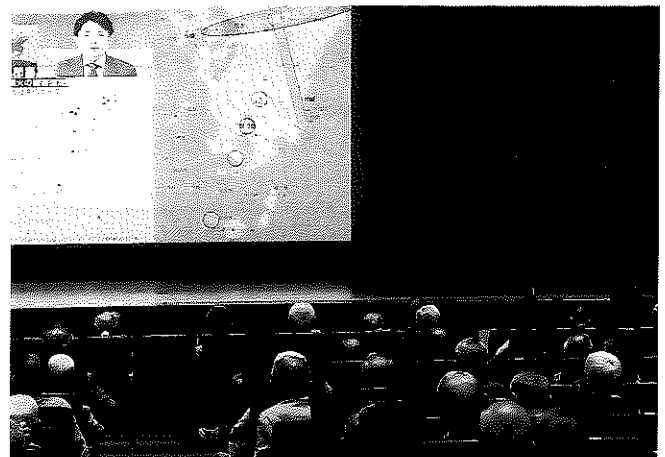
本日は地域の皆様、陸上自衛隊第11旅団、海上保安庁、札幌管区気象台、北海道警察、北海道開発局、ライフライン企業などの各防災関係機関の皆様、災害時の協定締結団体及び企業の皆様、そして近隣自治体の職員の皆様へのご参加お礼の言葉。

近年、全国各地で予測できない自然災害に迅速かつ的確な対応に日常から「備え」の重要性についてお話されておりました。



令和元年度 地域防災計画セミナー

令和元年6月28日（金）北海道大学クラーク会館講堂にて札幌市危機管理対策室主催による「令和元年度地区防災計画セミナー」が開かれ約360人の参加者。大変学ぶことの多い講演会でした。



編 集 後 記

地球気候変化により日本でも特に台風15号、19号では記録的な大雨をもたらした台風により大変多くの方々が犠牲に成り日々ご不便な生活をおくられているのが現状です。

今回19号台風では19都県で道路陥没、土砂災害、堤防決壊など、一日も早い復旧作業で日頃の生活にもどれるよう願っております。

被災にあわれた方々に心よりお見舞申し上げます。

札幌においても自分のところだけは大丈夫という言葉は通用できない時代になっているのではないのでしょうか。

日頃から自分の身は自分で守ることをつねに心えておく必要と思います。

今回札幌では全家庭に洪水から身を守るハザードマップが配布されてますので是非ご家庭の皆様で確認しておいて下さい。

これから寒さも一段と厳しくなりますので健康には十分気をつけて下さい。

広報部長 渡辺 恵美子 FAX・TEL 011-851-9583番

印刷所 北晃社 斎加印刷所
札幌市西区八軒1条東5丁目
電話 011 (631) 1271